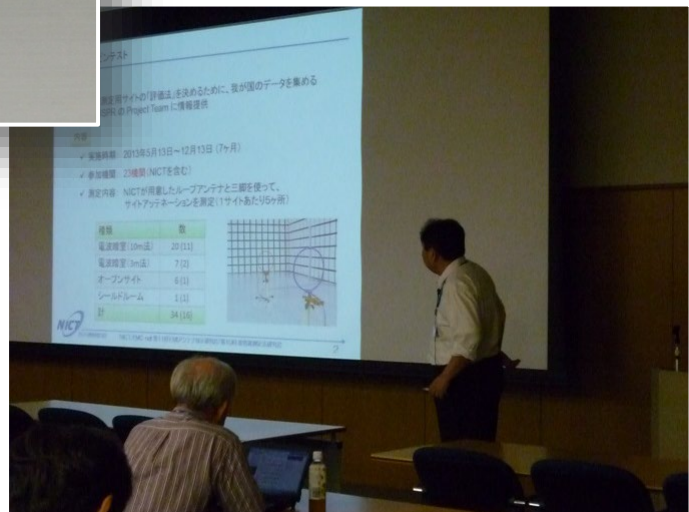


NICT/EMC-net 御案内



I 趣旨 EMC の様々な課題について、会員及び NICT 職員が、研究会などを通じて情報交換や意見交換を行い、さらに測定調査や見学実習を行うことによって、EMC 関連技術に関する理解を深め、併せて、我が国の EMC 関連技術の向上に役立てることを目的とします。

II 研究会 会員は、広く産学官から募集致します。平成 28 年度から、より広い範囲を検討対象に含めるため研究会構成を下記のように改定いたしました。

(1) EMC 測定法研究会

本研究会では、CISPR(国際無線障害特別委員会)で検討されている放射・伝導妨害波測定法、および IEC TC77(電磁両立性技術委員会)で検討されているイミュニティ試験法などを対象として、規格策定・改定審議における背景や要点を紹介し、これらの測定法・試験法の問題点や現場での対応策・改善策等について、幅広い意見交換を行います。

(2) EMC 校正法研究会

現在 CISPR/SC-A で NICT が議論を主導している放射妨害波測定用アンテナの校正法や妨害波測定場の評価法、高周波測定器や電磁界プローブの校正技術について国際動向や技術的課題を紹介し、uncertainty 評価や実際の校正における問題点などについて広く意見交換を行います。

(3) 人体の電磁界ばく露評価研究会

携帯電話、RFID や無線電力伝送技術等、近年の電波利用環境の普及・拡大に伴い、電磁界への人体ばく露に対する関心が高まっており、また製品開発においても電波防護指針や国際ガイドラインへの適合性確認が重要になってきています。本研究会では電磁界への人体ばく露に関する研究・開発動向や規制動向等を紹介し、幅広く意見交換を行います。

(4) 将来課題研究会

上記3研究会を含む電磁環境技術分野において今後我が国が取り組むべき重点的研究課題について、技術トレンドや国際動向も踏まえて幅広い議論・意見交換を行います。

III 研究会の内容、回数、会費

- (a) NICT 職員・会員・外部講師による講演、および情報交換や意見交換を行います。また、個々の問題に関して、調査測定や見学実習を行います。
- (b) 開催時期は研究会によって異なりますが、各研究会とも年 1～2 回程度開催致します。なお、希望者多数の場合は先着順になります。
- (c) 会費は無料です。

IV 講演会・セミナー

- (a) シンポジウムは毎年度末に開催致します。
- (b) その他、一般に対する講演会やセミナーも適宜開催致します。

V 令和 2 年度の活動状況

- (a) EMC校正法研究会：第18回：2020/12/8
- (b) 人体の電磁界ばく露評価研究会：第7回：2020/12/16
- (c) EMC測定法研究会：第19回：2020/12/8
- (d) NICT/EMC-netシンポジウム：第14回：2020/10/12

VI NICT/EMC-net 会員登録および研究会参加の申込み先

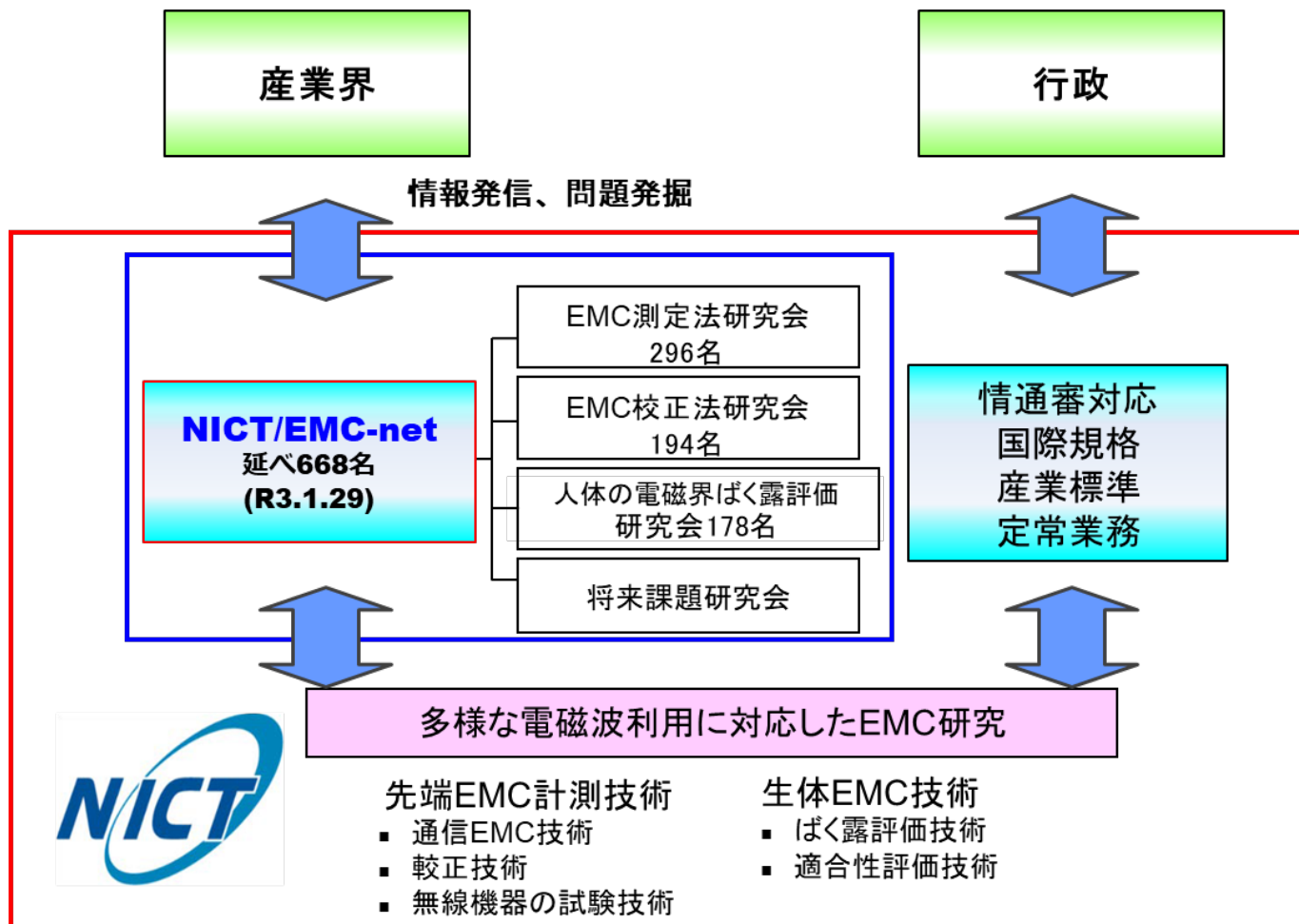
国立研究開発法人情報通信研究機構

電磁波研究所総合企画室

NICT/EMC-net 事務局

E-mail : info-emcnet@ml.nict.go.jp

URL : <https://emc.nict.go.jp/emc-net/>



NICT/EMC-net 研究会の主任と幹事

(1) EMC 測定法研究会

主任：石上 忍（イミュニティ試験法）1992年電気通信大学大学院電子工学専攻博士前期課程了。同年～1999年電気通信大学電子工学科助手。1999年郵政省通信総合研究所（現 NICT）入所。ESD 電磁界測定，イミュニティ試験法，TEM デバイスによる EMC 試験法などの研究・業務に従事。2004年より IEC 国際会議に参加。2016年4月より東北学院大学工学部 教授。IEC SC77B TEM JTF，IEC TC77 WG13, CISPR/A WG1, WG2 各エキスパート。工博。

幹事：張間 勝茂（EMC 測定法）1986年九工大・工・電気卒。同年郵政省電波研究所（現 NICT）入所。以来，アンテナ測定，数値電磁界解析，リバーブレーションチャンパ等の EMC 測定に関する業務・研究に従事。IEC SC77B 国内委員，IEC/JTF/TEM，IEC/JTF/REV 各エキスパート(2015,2016,2017)。JIS 原案作成委員(2015, 2016)。

(2) EMC 校正法研究会

主任：藤井 勝巳（高周波計測器の校正）2001年電気通信大学大学院電子工学専攻博士課程了。同年～2006年東北大学電気通信研究所助手。2004年～2006年 NICT 短期専攻研究員兼務。2006年 NICT 入所。EMI 測定用アンテナや高周波電力計等，無線用測定器等の校正に関する研究・業務に従事。工博。

幹事：浜田 リラ（電磁界ばく露計測器の校正）2000年千葉大学大学院自然科学研究科博士後期課程修了。同年～2005年電気通信大学電子工学科助手。2005年 NICT 入所。工博。

(3) 人体の電磁界ばく露評価研究会

主任：多氣 昌生（生体電磁気学，環境電磁工学）1981年東大大学院工学研究科博士課程修了。同年都立大助手，1983年同講師，1986年同助教授，1998年同教授，2005年首都大教授，2019年同名誉教授，NICT 入所。1996年から2008年まで国際非電離放射線防護委員会主委員会委員。2000年より電気学会 IEC TC106 国内委員会委員長，2008年より総務省生体電磁環境に関する検討会座長代理，2011年より2014年まで国際電波科学連合医用生体電磁気学分科会委員長，2013年より総務省情報通信審議会電波利用環境委員会主査。工博。

幹事：大西 輝夫（電磁界ばく露量評価）1987年東京理科大学理工学部物理学科卒。2005年千葉大学大学院自然科学研究科博士後期課程修了。株式会社 NTT ドコモなどで電磁界ばく露量評価の研究に従事。2019年 NICT 入所。主に電波ばく露レベルのモニタリングに関する研究に従事。2018年より IEEE/ICES TC34 議長，及び IEC TC106 PT63184 プロジェクトリーダー，同 JWG12 コンビナー。2020年より総務省電波利用環境委員会基地局等評価方法作業班主任。2015年から2018年まで国際生体電磁気学会(BEMS)理事。工博。

幹事：水野 麻弥（超高周波計測）2006年東北大学大学院工学研究科博士課程修了。同年 NICT 入所。超高周波帯における材料評価技術，生体組織の誘電特性に関する研究に従事。ICNIRP SEG Member。工博。

(4) 将来課題研究会

将来課題研究会は、検討テーマによって幹事会構成員が適宜担当して開催いたします。

代表幹事	多氣 昌生	NICT 電磁波研究所電磁波標準研究センター電磁環境研究室 上席研究員
副代表幹事	渡辺 聡一	NICT 電磁波研究所電磁波標準研究センター電磁環境研究室 室長
幹事	松本 泰	NICT 電磁波研究所電磁波標準研究センター電磁環境研究室
幹事	藤井 勝巳	NICT 電磁波研究所電磁波標準研究センター電磁環境研究室
幹事	後藤 薫	NICT 電磁波研究所電磁波標準研究センター電磁環境研究室
幹事	和氣 加奈子	NICT 経営企画部 企画戦略室
幹事	大西 輝夫	NICT 電磁波研究所電磁波標準研究センター電磁環境研究室
幹事	浜田 リラ	NICT 電磁波研究所電磁波標準研究センター電磁環境研究室
幹事	張間 勝茂	NICT 電磁波研究所電磁波標準研究センター電磁環境研究室
幹事	石上 忍	東北学院大学 工学部 情報基盤工学科 教授
幹事	山中 幸雄	NICT 電磁波研究所 電磁波標準研究センター電磁環境研究室
幹事	水野 麻弥	NICT 電磁波研究所 電磁波標準研究センター電磁環境研究室
アドバイザー	和田 修己	京都大学大学院 工学研究科 電気工学専攻 教授
アドバイザー	篠塚 隆	NICT 電磁波研究所電磁波標準研究センター電磁環境研究室
顧問	平 和昌	NICT 電磁波研究所長
顧問	花土 ゆう子	NICT 電磁波研究所電磁波標準研究センター長

NICT/EMC-net 会員登録申込書

ふりがな

お名前：_____

ご勤務先：_____

ご所属：_____

〒
ご住所：_____

お電話：_____

E-mail：_____

下記の研究会のうち、御登録を希望されるものに○を付けて下さい。

(1) EMC 測定法研究会	
(2) EMC 校正法研究会	
(3) 人体の電磁界ばく露評価研究会	
(4) 将来課題研究会	※

※「将来課題研究会」は毎回異なるテーマになるので、固有の会員を登録致しません。
他の研究会（複数可）へのご登録をお願い申し上げます。
（開催案内は(1)～(3)のすべての研究会の会員にお送りします。）

ご登録いただきました情報は個人情報に関する法令及びその他の規範を遵守し、EMC-netに関する資料としてのみ使用いたします。第三者への転売・譲渡・開示は一切行いません。

連絡先

東京都小金井市貫井北町 4-2-1
国立研究開発法人情報通信研究機構
電磁波研究所企画室
NICT/EMC-net 事務局
E-mail: info-emcnet@ml.nict.go.jp